

令和 5 年 第 9 回

武蔵村山市教育委員会定例会

令和 5 年 9 月 1 5 日

武蔵村山市教育委員会

令和5年第9回武蔵村山市教育委員会定例会

1 日 時 令和5年9月15日（金）

開会 午前 9時30分

閉会 午前10時14分

2 場 所 武蔵村山市役所401大集会室

3 出席委員 池谷光二（教育長） 大野 順 布

杉原 栄 子 潮 美 和

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	鈴木 義雄	学校教育担当部長	東口 孝正
教育総務課長	佐藤 哲郎	教育施設担当課長	櫻井 謙次
指導・教育センター担当課長	加藤 由裕	学校給食課長	神子 武己
防災食育センター整備担当課長	矢野 喜之	文化振興課長	西原 陽
スポーツ振興課長	鳥海 純子	図書館長	諸星 裕
指導主事	石井 和成	指導主事	丹羽 千晶

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係 池谷正太郎
牧瀬友紀子

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 令和5年第1回教育委員会臨時会及び前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 議案第49号 武蔵村山市教育委員会施設勤務職員の勤務時間、休憩時間等に関する
規程の一部を改正する規程について
- 5 その他

◎開会の辞

○池谷教育長 本日の会議に際しまして、1名の方から傍聴の申出があり、武蔵村山市教育委員会会議規則第29条の規定に基づき、会議の傍聴を許可しましたので報告いたします。

本日の出席委員は4名で定足数に達しております。

これより、令和5年第9回武蔵村山市教育委員会定例会を開会いたします。

◎日程第1 会期の決定

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思います。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 令和5年第1回教育委員会臨時会及び前回会議録の承認

○池谷教育長 日程第2、令和5年第1回教育委員会臨時会及び前回会議録の承認を議題といたします。

本件は、これを承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、本件は承認されました。

本日の会議録の署名は、潮委員にお願いいたします。

◎日程第3 教育長報告

○池谷教育長 日程第3、教育長報告を議題といたします。

1点目でございますが、令和5年第3回市議会定例会一般質問対応状況についてでございます。

資料1を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育部長から報告いたします。

鈴木教育部長、お願いします。

○鈴木教育部長 それでは、令和５年第３回市議会定例会での一般質問対応状況につきまして御説明いたします。

第３回市議会定例会につきましては、９月４日から２７日までの会期で開催されており、一般質問につきましては、９月７日、８日、１１日及び１２日の４日間の日程で実施されました。

教育委員会関係では、１０人の議員から１１項目で２０点の質問があり、教育長答弁要旨につきましては資料１のとおりでございますので、御参照いただければと存じます。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、２点目でございます。

令和４年度 学校保健統計書についてでございます。

資料２を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

佐藤教育総務課長、お願いします。

○佐藤教育総務課長 それでは、令和４年度 学校保健統計書について御報告申し上げます。

まず、１ページを御覧ください。

こちらは、令和４年度の学年別身長・体重の平均値でございます。

次に、２ページ及び３ページでございますが、こちらには平成１８年度以降の身長及び体重の平均値の推移をお示ししております。

次に、４ページ及び５ページには、疾病異常等調査結果をお示ししております。

次に、６ページ及び７ページには、学校感染症等による出席停止者数を、また８ページには、就学時健診における疾病異常被患者数を記載しております。

次に、９ページから１１ページまでにつきましては、心臓検診の結果をお示ししております。心臓検診は、小学校１年生、中学校１年生及びそれ以外の学年のうち内科検診において心臓検診が必要と認められた児童・生徒を対象に実施しております。

なお、９ページ及び１１ページにおいて、他学年と表示しているものは、内科検診において心臓検診が必要と認められた小学校１年生、中学校１年生以外の学年の児童・生徒数でございます。

最後に、１２ページ及び１３ページにつきましては、尿検査の結果をお示ししておりますので、御確認いただければと思います。

報告は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、3点目でございます。

令和5年度　夏季教職員研修会出席状況についてでございます。

資料3を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事　それでは、令和5年度　夏季教職員研修会出席状況について御報告いたします。

今年度は、令和5年7月24日（月）に教育相談研修会を、8月1日（火）、2日（水）に「輝け！未来の教育管理職研修」をいずれも集会形式で開催いたしました。

将来の教育管理職希望者を対象とした「輝け！未来の管理職研修」につきましては、昨年度、1時間6講座と2時間1講座の計7講座としておりましたが、研修内容の一層の充実を図るため、今年度は2時間4講座に再編成し、開催いたしました。

講師は、小中一貫校大南学園第七小学校、川口周作校長先生、第一小学校、久朗津朋子副校長先生、第八小学校、東高央副校長先生、第十小学校、今井一馬副校長先生などに務めていただき、「教育管理職の魅力」や「まちづくり学習の理解」をテーマに御講義いただきました。こちらは、悉皆とした新任主幹教諭をはじめ、教育管理職を志す38名の先生方が受講いたしました。

また、1年次若手教員育成研修受講者を対象とした教育相談研修会は、本市教育相談室長、坂上頼子先生に講師を務めていただき、ストレスマネジメント等について、演習を交えて御講義いただきました。こちらは14名の先生方が受講いたしました。

受講者からは、インターネットを活用したアンケートフォーム等にて各研修会の評価をいただきました。事務局としましては、アンケート結果等を参考にし、来年度の夏季研修会のさらなる充実を図ってまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、4点目でございます。

令和5年度　武蔵村山市「小中一貫教育の日」の実施についてでございます。

資料4を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 それでは、令和５年度 「小中一貫教育の日」の実施について御説明いたします。

小中一貫教育の日は、令和元年度より各中学校区において、研究授業等の実践を通して、小中一貫の連携を高めることを目的として実施しております。

昨年度までは、各校区が１０月第２週水曜日に一律に開催しておりましたが、今年度は各校区で定めることとし、既に小中一貫校大南学園が令和５年６月１４日（水）に、三中校区が令和５年９月１３日（水）に実施いたしました。今後は、一中校区、小中一貫校村山学園、五中校区が令和５年１０月１１日（水）に実施する予定となっております。

教育長並びに教育委員の皆様におかれましては、今年度は一中校区における研究活動の様子を第一中学校にて御参観いただく予定となっております。御多用のところ恐れ入りますが、御出席賜りたくお願い申し上げます。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、５点目でございます。

令和５年度 全国学力・学習状況調査武蔵村山市版結果報告書についてでございます。

資料５を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 それでは、令和５年度 全国学力・学習状況調査武蔵村山市版結果報告書について御説明いたします。

それでは、表紙をおめくりいただき、目次を御覧ください。

本報告書は４部構成となっており、１ページに調査の概要を、２ページから１１ページに小学校の調査結果を、１２ページから２９ページに中学校の調査結果を、３０ページに調査問題等が掲載されているウェブサイトアクセスするための二次元コードを掲載しております。

次に、１ページをお開きください。

まずは、調査の概要について御説明いたします。本調査は、小学校第６学年、中学校第３学年及び中学部第９学年を対象に、令和５年４月１８日（火）に市内全校で実施いたしました。今年度の実施教科は、小学校は国語及び算数、中学校は国語、数学及び英語となっております。また、いずれの校種でも生活習慣等に関する質問紙調査を実施しております。

次に、小学校の調査結果を御説明いたします。

２ページをお開きください。

こちらには、小学校の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。上段には、武蔵村山市、東京都、全国の各教科の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。中段には国語、下段には算数の平均正答数分布グラフをお示ししております。御覧いただいておりますように、2教科とも全国及び都の平均正答率を下回っているという結果となりました。

続いて、3ページをお開きください。

こちらは、各教科領域別の結果をグラフ及び表でお示ししております。領域別において、2教科とも全国及び都の平均正答率を上回る領域はございませんでした。

4ページには、問題形式別の結果をグラフ及び表でお示ししております。教科内の問題形式で比較すると、国語については選択式の平均正答率が最も高くなっておりますが、算数については短答式の平均正答率が最も高いという結果になりました。

5ページ、6ページには、市内小学校において平均正答率が高い問題を掲載しております。

5ページ、国語においては、「くらべて」の送り仮名として適当なものを3つの選択肢の中から答える問題に対し、市内小学校平均正答率は87.4%という結果でした。

6ページ、算数においては、5脚の椅子を重ねたときの高さを表から変化の特徴を読み取り答えを求める問題に対し、市内小学校平均正答率は89.2%という結果でした。

7ページ、8ページには、市内小学校において特に課題が見られた問題を掲載しております。

7ページ、国語においては、図や表を用いて自分の考えが伝わるように書き表す記述式の問題に対し、市内小学校平均正答率は19.8%という結果でした。

8ページ、算数においては、切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを答える問題に対し、平均正答率は17.1%でした。

9ページから11ページは、児童質問紙の質問事項の回答割合と平均正答率の相関関係を教科別に表・グラフでお示ししております。小学校においては、お示しした3つの教科別クロス集計結果で、肯定的に回答している児童の平均正答率が最も高く、当てはまらないと回答した児童の平均正答率が最も低い、グラフでは階段状となる結果となりました。

以上が、小学校の調査結果でございます。

次に、中学校の調査結果を御説明いたします。

12ページ、13ページを御覧ください。

こちらには、中学校の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。12ページ上段には武蔵村山市、東京都、全国の各教科の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。

12 ページ下段から 13 ページにかけて、各教科の平均正答数分布をグラフでお示ししております。御覧いただいておりますように、3 教科全てで全国及び都の平均正答率を下回るという結果となりました。

続いて、14 ページ、15 ページを御覧ください。

こちらは、各教科領域別の結果をグラフ及び表でお示ししております。領域別において、3 教科全てで全国及び都の平均正答率を上回る領域はございませんでした。

16 ページ、17 ページには、問題形式別の結果をグラフ及び表でお示ししております。教科内の問題形式で比較すると、国語及び英語は選択式、数学においては短答式の平均正答率が最も高いという結果となりました。

18 ページから 20 ページには、市内中学校において平均正答率が高い問題を掲載しております。

18 ページ、国語においては、目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかを見る問題に対し、市内中学校の平均正答率は 85.8%でした。

19 ページ、数学においては、はじめの数が 11 のとき、はじめの数にかける数が 2、たす数が 3 のときの計算結果を求める問題に対し、市内中学校の平均正答率は 84.8%でした。

20 ページ、英語においては、リスニングの問題において、市内中学校の平均正答率は 78.5%でした。

21 ページから 23 ページには、市内中学校において特に課題が見られた問題を掲載しております。

21 ページ、国語においては、現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているのかについて、古典と比較して書く問題に対し、平均正答率は 39.8%でした。

22 ページ、数学においては、2 つの直線 BC と直線 AE が平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する問題に対し、市内中学校の平均正答率は 25.5%でした。

23 ページ、英語においては、学校生活の中から紹介したいものを 1 つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く問題に対して、市内中学校の平均正答率は 2.8%でした。

24 ページから 29 ページは、生徒質問紙の質問事項の回答割合と平均正答率の相関関係を教科別に表・グラフでお示ししております。中学校においては、お示しした 3 つの教科別クロス集計結果で、肯定的に回答している生徒の平均正答率が最も高く、当てはまらないと回答した生徒の平均正答率が最も低いという結果ではございましたが、全てが階段状のグラフ

ではなく、一部特異なものが見られる結果となりました。

以上が、中学校の調査結果でございます。

今年度の結果を受けまして、事務局としましては、学力向上に課題があると認識しております。しかし、同一学習集団ではないので参考程度となりますが、昨年度の平均正答率との比較では、小学校国語の平均正答率につきましては、東京都は昨年度比±0 ポイント、全国が昨年度比+1.6 ポイントに対し、本市は+4.0 ポイントで、中学校数学の平均正答率につきましては、東京都は昨年度比±0 ポイント、全国が昨年度比+0.4 ポイントに対し、本市は2.0 ポイント上昇しており、学力が伸びる兆しを感じております。このようになったのは、昨年度の学力向上推進委員会の取組である東京ベーシック・ドリルを活用した基礎・基本の定着を図る取組や、授業改善推進プランに基づいた授業改善を図ってきたこと、市学力調査を通して得られた経験値の蓄積など、取組の効果が現れてきているものだと捉えております。

今後も、児童・生徒の学力向上に資する指導の充実が図られるよう、教育委員会として指導・助言してまいります。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、6 点目でございます。

武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託についてでございます。

資料 6 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、学校給食課長から報告いたします。

神子学校給食課長、お願いします。

○神子学校給食課長 それでは、武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託につきまして御報告をいたします。

小学校の学校給食につきましては、現在、学校給食センターにて市の直営で運営を行っておりますが、昭和 40 年代に建築された建物が老朽化も著しく、令和 7 年 4 月を目標に（仮称）防災食育センターを現在建設中でございます。

（仮称）防災食育センターを建設するに当たり、令和元年度に武蔵村山市防災まちづくり構想の策定及び教育委員会で平成 25 年度に給食センターの今後の在り方について検討しており、その運営に当たっては、調理、洗浄、配膳、配送について、民間事業所に委託する旨決定がなされております。そこで、小学校給食を委託する民間事業所を決定すべく、公募型のプロポーザル要領を 9 月 11 日に公表し、事業所を現在募っております。

資料 6 は、その公募型プロポーザルの実施要領となります。

1 ページの 4、スケジュールを御覧ください。

予定では、11 月 17 日の事業者からのプレゼンテーションを受けて、優先交渉事業者を決定する運びとなっております。

なお、教育委員会には、12 月に議案としてお示しをする予定でございます。

次に、7 ページを御覧ください。

審査基準でございます。単に委託金額だけで事業者を決定するのではなく、学校給食の意義や衛生面、また防災関係等多岐にわたる審査項目により、よりよい事業者を選びたいと考えてございます。

なお、従前どおり、献立の作成や食材の発注、また給食費の徴収などは、引き続き市の栄養士、または市の事務職員が担当いたします。

報告は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、7 点目でございます。

第 12 回武蔵村山市小中学生百人一首大会の開催についてでございます。

資料 7 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

西原文化振興課長、お願いします。

○西原文化振興課長　それでは、第 12 回武蔵村山市小中学生百人一首大会の開催について報告いたします。

資料 7 を御覧ください。

大会の主催は教育委員会、開催日時は 10 月 29 日（日）、午前 9 時から午後 4 時までを予定しており、会場は総合体育館第二・第三体育室となります。

対象は、市内在住の小・中学生となります。小学生の部は団体戦で 1 チーム 3 人の 32 チーム、中学生の部は個人戦で 32 人を定員といたします。

練習会は、10 月 8 日（日）、午後 2 時から午後 4 時までを予定しており、会場は市民会館さくらホール展示室及び和室となります。

審判や読み手につきましては、一般社団法人全日本かるた協会に会員の派遣をお願いしており、教育を支援する市民の会に大会運営への協力をお願いしております。

なお、小学校は各校 2 チーム、中学校は各校 5 人の学校推薦枠を設けております。

教育長並びに教育委員の皆様には、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、開会式に御出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

報告は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、8点目でございます。

令和5年度少年少女スポーツ大会第21回少年少女ドッジボール大会の開催結果についてでございます。

資料8を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長　それでは、令和5年度少年少女スポーツ大会第21回少年少女ドッジボール大会の開催結果について御報告いたします。

資料8を御覧ください。

本大会につきましては、令和5年7月22日（土）、総合体育館第一体育室におきまして、市内各小学校から30チーム434人の児童に参加をいただき、開催をいたしました。

大会の成績につきましては、資料にお示しのとおりでございますので、御参照いただきたいと思います。

暑い時期での開催となり、熱中症などの心配もありましたが、体調不良となる児童はなく、無事に開催することができました。

教育長におかれましては、お忙しい中、開会式等に御出席をいただき、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。

また、本来であれば8月の定例会で報告すべき内容でしたが、報告が遅くなりまして申し訳ありませんでした。

報告は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、9点目でございます。

第18回地区ふれあいスポレク大会の開催についてでございます。

資料9を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長　それでは、第18回地区ふれあいスポレク大会の開催について御報告いたします。

資料9を御覧ください。

本大会は、スポーツ・レクリエーション活動を通じて、市民相互の融和と親睦を深め、心

身の健康を培うため実施をするもので、令和２年度以降、感染症拡大防止対策として開催を見合わせておりましたが、今年度は各地区とも規模を縮小して開催する運びとなりました。

主催は武蔵村山市教育委員会、主管は４地区のふれあいスポレク大会実行委員会でございます。

開催日は、令和５年１０月８日（日）、雨天の場合は、屋内でできる競技を行う等、各実行委員会の企画内容により実施する予定でございます。

会場は、中藤地区が第一中学校校庭、西部地区が総合運動公園運動場第２運動場、南部地区が大南公園野球場、北部地区が雷塚小学校校庭及び体育館となっております。

各地区の地区区分、実行委員会役員等については、資料にお示しのとおりとなっております。

また、プログラムにつきましては、現在検討を行っている状況となっておりますので、案として記載をしております。

競技内容につきましては、自治会対抗としていた従来の運動会形式ではなく、自由に参加できる競技を計画し、大会が午前中に終了できるよう開催時間を縮小して行う方向で各地区とも検討しております。

教育長におかれましては、お忙しい中大変恐縮ではございますが、各地区での激励をよろしくお願いいたします。

報告は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、１０点目でございます。

第５０回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催についてでございます。

資料１０を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長　それでは、第５０回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催について御報告いたします。

資料１０を御覧ください。

令和２年度以降、感染症拡大防止対策として開催を見合わせておりました市民駅伝競走大会ですが、今年度は令和５年１２月１０日（日）に開催をいたします。

主催は武蔵村山市教育委員会で、午前９時から総合体育館駐車場において開会宣言を行い、午前９時４５分に女子の部、小学生の部、中学生の部がスタートいたします。また、午前１０

時から一般の部、地域の部がスタートいたします。

表彰式については、午後 0 時 30 分頃からを予定しております。

コースについては、別紙としてコース図を添付しておりますが、以前の青梅街道を走行するコースで、総合体育館をスタート、ゴール地点とする全 6 区間、青梅街道の宿交差点から大曲り交差点間を 2 周する 14.87 km のコースとしております。

大会当日は、午前 9 時 30 分から正午まで、青梅街道等において交通規制が実施されます。車両での移動はできませんので、よろしくお願いいたします。

参加チームの募集案内は、10 月 1 日号市報で行うこととしておりまして、10 月 5 日（木）から先着順で受付をいたします。

募集チーム数は先着 140 チームで、参加料は 1 チーム当たり 6,000 円となっております。ただし、小学生の部、中学生の部については無料といたします。

また、今回も特別参加チームといたしまして、栄村チーム、横田基地チームにお声がけする予定でございます。

教育長並びに教育委員の皆様におかれましては、お忙しい中大変恐縮ではございますが、開会宣言等に御出席をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 教育長報告は以上でございます。

11 点目のその他でございますが、特に報告等はございません。

教育長報告に対する質疑等があればお受けいたします。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 資料 5 の全国学力・学習状況調査の結果についてです。児童・生徒質問紙と学力のクロス分析につきまして、基本的な生活習慣と学力というのが大きく関連するものだと感じるところでございます。こちらの結果の児童・生徒、また保護者への周知というのはいかがでしょうか。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 御質問いただいた公表、周知についてですが、事務局で検討の上、できる限り校長会を通じて先生方、また保護者等に周知できるようにしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。学力調査の結果といたしますか、子供たちの学びにおいて家庭の協力というのも大変必要だと思いますので、よろしくお願いいたします。

○池谷教育長 杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 それでは、3点お願いいたします。

まず、資料3についてです。夏季教職員研修会の出席状況という資料の中に「輝け！未来の教育管理職研修」と「教育相談研修会」が載っておりますが、教育管理職研修の方は新任の主幹教諭の参加が悉皆であり、教育相談研修会の方は1年次の若手教員の参加が悉皆であることから、その立場の方は大変出席しやすいと思います。しかしながら、例えば教育管理職研修会ですが、これはネーミングからいって、なかなかその立場になれば出席しにくい状況があると思いますが、主幹以外の先生方の参加はどうだったのかお伺いします。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いいたします。

○石井指導主事 主幹以外の先生方の参加状況につきましては、主任教諭の先生や教諭の先生も参加いただいております。

以上でございます。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。資質はあっても希望するのは難しく、学校によって人数のばらつきが見られます。そうしたことから、やはり出席しやすい学校とそうでない学校があるのだらうと思いました。

管理職研修会の内容もそうですが、学校経営や運営的な視点を先生方が学ぶというのは、御自分のキャリアにとっても大変素晴らしいことだと思います。教育課程に加えて、課題をどのように把握して解決していくかということが学べると、学校経営にも参画していきやすいだろうと思います。ぜひ、様々な先生方にお声掛けをお願いできればと思います。

2点目です。資料5の全国学力・学習状況調査の結果報告書についてです。1ページの調査結果の活用というところに、児童・生徒一人一人の学習状況の改善に役立てると書いてあり、これは素晴らしいことだと思います。子供たちが主体的に取り組めて、初めて本当に学力がついていくだろうと思います。そういう点からいうと、30ページに調査問題・正答例・解説資料等として二次元コードを載せてあることは、子供たちも自ら取り組めるため、大変素晴らしいものだと思いますが、二次元コードを使って子供たちが学んでいこうとする場合のことを考えて、子供たちにもこの資料が配布されるのかどうかお伺いします。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いいたします。

○石井指導主事 それでは、お答えします。

この結果については校長会において周知いたします。校長会を通じて資料の内容を先生方に周知いただくとともに、授業への活用についても呼び掛けをしていただこうと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。先ほど説明がございましたけれども、昨年の学力調査に比べて、武蔵村山市の場合は子供たちの正答率が全国や都を上回る結果であり、望ましいことだと思います。また、この資料の中で平均正答率の高い問題を見たときに、文章を読んで考える問題なども子供たちが少しずつ力をつけてきていると感じました。

実際に子供たちは、自分はこういうところが苦手だ、これが難しかったなど、この学力調査を受けて初めて問題意識を持つと思います。そうしたことから、ぜひ子供たちがこの二次元コードを使って振り返って学べるシステムをお願いしたいと思います。

3点目です。資料7と資料8、それから先日行われた少年・古希軟式野球親善試合などについてです。百人一首もそうですが、小・中学生の子供たちが日本の伝統文化を趣味に持つことは大変素晴らしいと思います。また、ドッジボール大会や野球の親善試合などの体験というのは、これはよい思い出になり、大人になってから再び取り組もうとする意欲にもつながると思います。生涯学習の視点から、小学校、中学校のこうした行事というのは大変貴重だと思います。ぜひこれからもよろしくをお願いしたいと思います。

○池谷教育長 大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 私からは感想とお願いでございます。

今回、10件の報告をいただきましたけれども、そのうち文化的行事と体育行事の開催に関するものが数件含まれております。いよいよ秋を迎えるという気持ちと、改めて、ようやく数年ぶりに平常が戻ってきたという思いを持ったところでございます。この日を待ちわびていた市民も大勢いらっしゃるかと思います。ぜひその方々の期待に応えるよう、十分な準備と円滑な運営をよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○池谷教育長 潮委員、お願いいたします。

○潮委員 資料5の学力・学習状況調査の結果について、1点質問です。

ただいま杉原委員より調査結果の活用というところ、二次元コードのお話もございまして、その中で石井指導主事より調査結果の授業への活用というお話がございましたが、正答率が低い問題について、その結果を取り上げた授業、そのつまずきの解決につながるような授業というのはしていただけているのでしょうか。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 平均正答率が低い問題に対する学校の対応につきまして、昨年度、東京ベーシック・ドリルを活用した取組で、小学校でいうと小数の計算、小数同士の掛け算や割り算の問題に苦手意識がある児童が多いということが分かりました。その結果を受けて、今年度は学力向上推進委員会において、その問題を解けるようにしようということで、各学校で補習教室や授業の中で重点的に指導をいただいているというところであります。

また、中学校においては、中学校1年生では比例や反比例、中学校2年生では方程式や連立方程式に苦手意識を持っている生徒が多いということが昨年度の学力向上推進委員会の取組から分かりましたので、小学校と同様に授業で重点的に、また補習教室等を利用して子供たちに基礎・基本の定着を図る取組を行っているところであります。

今回の全国学力・学習状況調査の結果におきましても、先生方に結果を周知し、授業づくりに反映してもらうよう指導・助言してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。子供たちには考える力や諦めずに挑戦する力というのを付けてほしいと思っておりますので、さらなる御指導のほどよろしく願いいたします。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって教育長報告を終わります。

◎日程第4 議案第49号 武蔵村山市教育委員会施設勤務職員の勤務時間、休憩時間等に関する規程の一部を改正する規程について

○池谷教育長 日程第4、議案第49号 武蔵村山市教育委員会施設勤務職員の勤務時間、休憩時間等に関する規程の一部を改正する規程についてを議題といたします。

議案の朗読は省略させていただきます。

議案第 49 号の提案理由を説明させていただきます。

職員の勤務時間の変更に伴い規定を整備する必要があるので、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、教育総務課長から説明いたさせますので、よろしく御審議の上、御決定を賜りたくお願い申し上げます。

佐藤教育総務課長、お願いします。

○佐藤教育総務課長 それでは、議案第 49 号 武蔵村山市教育委員会施設勤務職員の勤務時間、休憩時間等に関する規程の一部を改正する規程について御説明いたします。

議案別紙の新旧対照表を御覧いただきたいと存じます。

別表でございますが、現在、給食センターに勤務する職員の勤務時間につきましては、「午前 7 時 30 分から午後 4 時 15 分まで又は午前 8 時から午後 4 時 45 分まで」としておりますが、実情に合わせたものにするため、「午前 7 時から午後 3 時 45 分まで」の勤務時間を追加するものでございます。

次に、附則でございますが、施行期日を令和 5 年 10 月 1 日とするものでございます。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより議案第 49 号 武蔵村山市教育委員会施設勤務職員の勤務時間、休憩時間等に関する規程の一部を改正する規程についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり決しました。

◎日程第５ その他

○池谷教育長 日程第５、その他に入ります。

委員の皆様からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これをもって、その他を終わります。

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって、令和５年第９回教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午前１０時１４分閉会